

私たちの命と財産を守る

水田川排水ポンプ場が完成

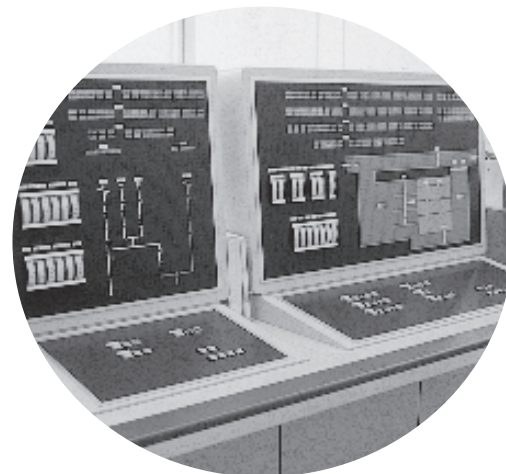
10月31日(水) 水田川の下流域である加古川市別府町に建設された水田川排水ポンプ場の完成式が行われました。



排水ポンプ場と水門

今までは

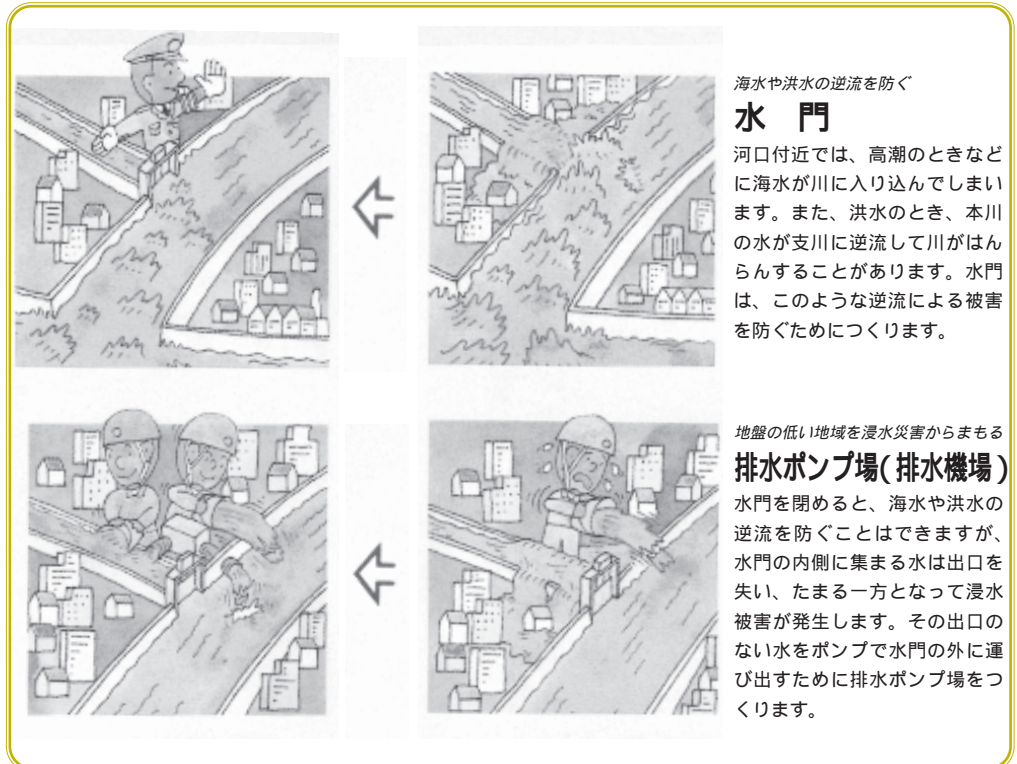
水田川は稲美町和田から加古川市・播磨町を流れ、別府川の下流付近に合流する、流域面積4.11平方キロメートル、延長4.9キロメートルの一級河川です。昭和四十年ごろまでは、田園地帯の農業用水路のような河川でしたが、近年その流域において急激な宅地化が進みました。水田川は水を流す能力が非常に低く、高潮の影響もあり、明姫幹線下流ではたびたび浸水被害が生じました。特に、平成二年九月の集中豪雨では、二百五十戸の家屋が浸水するなどの大きな被害を受け、早期の河川改修が望まれています。



いざという時ここで操作します



こんなことが起こらないように(平成2年9月の様子)



海水や洪水の逆流を防ぐ

水門

河口付近では、高潮のときなどに海水が川に入り込んでしまいます。また、洪水のとき、本川の水が支川に逆流して川がはんらんすることがあります。水門は、このような逆流による被害を防ぐためにつくります。

排水ポンプ場(排水機場)

水門を閉めると、海水や洪水の逆流を防ぐことはできますが、水門の内側に集まる水は出口を失い、たまる一方となって浸水被害が発生します。その出口のない水をポンプで水門の外に運び出すために排水ポンプ場をつくります。

これからは

水田川改修工事の一環として平成十年から着工されたこの排水ポンプ場は、台風や大雨などで増水した水が、地盤の低い地域に浸水する被害を防ぎ、一秒間に13立方メートルを排水する

ことができます。また、平成十年にはすでに、高潮や洪水での川の逆流を防ぐ防潮水門も完成しており、今回のポンプ場の完成によって、いっそう河川の防災機能を高め、地域の浸水に備えることができます。

環境保全活動の取り組み

先月号に引き続き、各自治会の活発な活動を紹介します。



環境保全と資源の回収

蓮池自治会

蓮池自治会は昭和五十二年の発足以来、「全行事は役員だけでなく、全世帯参加のもとで」を合言葉に今日まで活動を行ってきました。この理念は、発足当時二十数戸の会員が百戸になった現在も強く守られており、今でも環境保全のための行事は全員参加で実施しています。

溝掃除(クリーンキャンペーン)

自治会発足当時、まわりはのどかな田園風景に囲まれ、農業用水確保のための水路が取り巻いていました。水利組合の要請もあり、毎月一回の溝掃除は全世帯参加のもとで実施され、絶好のコミュニケーションの場となっていました。

本年度からは、いきいき活

動推進委員の提案で、人間関係をより親密なものにするために「あいさつ運動」を展開することにしました。各隣保長をリーダーに「あいさつを交わす」ことの意義について、清掃作業の合間に話し合っています。近年、この地区も宅地開発が進み、農地がなくなり、また下水道整備による家庭の雑排水が減少するなかで、側溝に汚水の流れが少なくなってきました。現在では、毎月第一日曜日の朝八時から実施していますが、そのときに集まる汚泥の処理が当面の課題になっていました。住宅が密集しないころは、汚泥を空き地に埋めたりして処理できましたが、空き地がほとんどなくなつた現在では、埋める場所がなく、シルバークリスタールに依頼して、塵芥処理場に運んでいます。



資源ごみを整理する役員

廃品回収

(資源ごみの集団回収)

新聞紙、段ボールなどの資源ごみ回収は、これまで子供会の担当でしたが、近年、子どもの減少に伴い子供会が休部となり、代わりに婦人会や自治会役員の協力にて、資源回収を継続しています。毎月第一日曜日の朝、二カ所の集積場に役員が立ち、持ち寄られた資源ごみを整理することにより、貴重な資源の活用を図っています。

地域の清掃活動の推進

本荘北自治会では、浜幹線街路樹周辺や公園など、地域の環境を美しく保ち、気持ちよく暮らすことができるように、隔月の第三日曜日午前八時から清掃活動を行っています。特に平松公園の清掃については、自治会の班ごと、持ち回りにて毎週実施し、また五月には近隣の事業所の方々と合同で、溝掃除をしています。

地域美化活動への取り組み

本荘北自治会



水田川クリーンキャンペーン

水田川遊歩道が「いきいき県土づくりプログラム」事業第1号に認定されて大変美しくなり、地域住民の格好の散歩道となりましたが、一方で雑草や犬のふんなどが見受けられるようになりました。このため、この七月に実施したクリーンキャンペーンをきっかけとして、「水田川を守る会」を結成し、いつでも、美しく気持ちの良い水田川を保つための活動を開始しました。「水田川を守る会」では、定期的な「ほほえみ橋(宮西公園)」から「あえ橋(浜

資源ごみ分別活動の推進

資源ごみの分別指導とごみステーションの清掃管理は、自治会役員と自治会員全員による当番制で、朝六時〜八時まで行なっており、以前に比べて会員への意識付けができ、大変分別が良くなりました。しかし、この月から実施しているプラスチック容器類ごみについては、プラスチック容器類ごみ以外のものも混入しており、今後もしっかり強い啓発活動を行っていく必要性を感じています。